

# 中川村公共施設個別施設計画



令和3年(2021年)3月



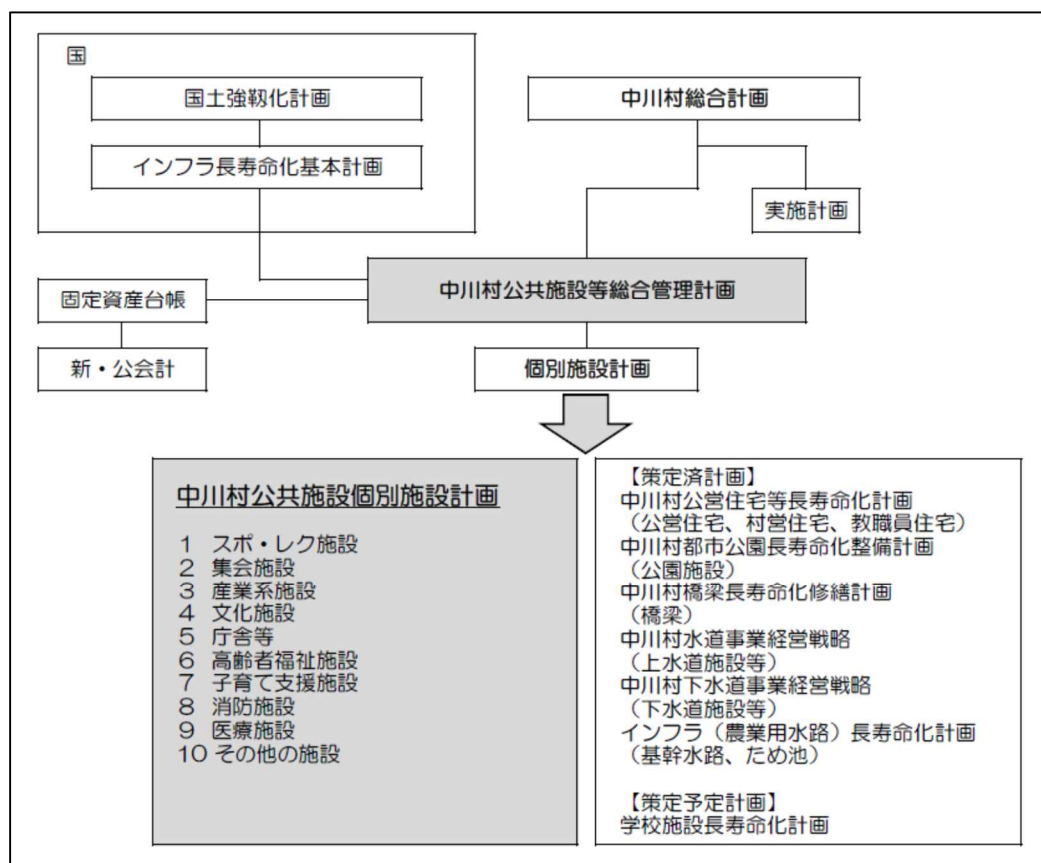
中川村

## 目次

I	計画の目的、位置づけ	1
II	対象施設	2
III	計画期間	2
IV	計画の基本的な考え方	2
V	施設の種類の施設管理計画	2
1	スポ・レク施設	2
2	集会施設	5
3	産業系施設	6
4	文化施設	7
5	庁舎等	9
6	高齢者福祉施設	10
7	子育て支援施設	11
8	消防施設	12
9	医療施設	13
10	その他の施設	13
VI	計画の進行管理	14
VII	施設管理計画一覧	15

## I 計画の目的、位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」及び「中川村総合計画」に基づいて策定した「中川村公共施設等総合管理計画」（平成29年3月策定。以下「総合管理計画」という。）の個別計画として、総合管理計画の基本方針を踏まえながら、施設の状態や点検・診断により、計画期間における施設管理の対策方針を定めることを目的とします。



## II 対象施設

本計画は、総合管理計画に掲げる公共施設（公共建築物）を対象とします（道路、橋梁、上下水道等のインフラ施設は対象外とします）。

公共施設の対象範囲は、個別に長寿命化計画を有する施設及び今後策定する予定の施設は対象外とします。

○個別に長寿命化計画を策定している施設等

- ・中川村公営住宅等長寿命化計画（平成24年3月策定）：公営住宅、村営住宅、教職員住宅
- ・中川村都市公園長寿命化整備計画（平成27年3月策定）：公園施設（参考）

- ・中川村橋梁長寿命化修繕計画（平成25年3月策定）：橋梁
- ・中川村水道事業経営戦略（平成29年3月策定）：上水道（施設、管路等）
- ・中川村下水道事業経営戦略（平成29年3月策定）：下水道（施設、管路等）
- ・インフラ（農業用水路）長寿命化計画（令和3年3月策定）：基幹水路、ため池

○今後、個別に長寿命化計画策定を予定している施設等

- ・学校：小学校、中学校（令和3年度）

### Ⅲ 計画期間

本計画の計画期間は、総合管理計画との整合を図るため、令和3年度から令和38年度までとします。

### Ⅳ 計画の基本的な考え方

計画の策定にあたっては、総合管理計画に掲げる基本的方針に基づいて、施設の利用状況や劣化・損傷等の状態、耐震診断の結果をもとに施設の必要性や配置の考え方を整理、検討を行い、計画期間における施設管理の対策方針を示すものとします。

対策の方針については、施設躯体に関わる大規模な改修や耐震補強、建替えによる施設の更新、施設の廃止（除却）について方針を示すこととし、施設のメンテナンスや維持修繕、設備更新等の計画は見込まないものとします。

### Ⅴ 施設の種類の施設管理計画

#### 1 スポ・レク施設

##### (1) スポーツ・体育施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
屋根付き運動場 「サンアリーナ」	1998(H10)	22	2,508.00	S	教育委員会
村民グラウンド施設	1991(H3)	29	102.02	RC	教育委員会
社会体育館	1990(H2)	30	2,519.58	SRC	教育委員会
弓道場（射場）	1981(S56)	39	105.90	W	教育委員会
武道館	1978(S53)	42	327.97	W	教育委員会

【※構造】：W(木造)、RC(鉄筋コンクリート)、SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)、S(鉄骨)

#### ① 現状と課題

##### ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

(単位：人)

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
サンアリーナ	15,371	15,809	15,698	16,580	11,238
村民グラウンド	20,067	20,575	20,649	15,662	16,089
社会体育館	17,740	24,430	24,542	22,576	14,137
弓道場	102	84	59	20	20
武道館	2,928	2,626	2,480	2,233	2,628

##### ○屋根付き運動場「サンアリーナ」

竣工から22年が経過し、自動シャッターなど設備の不具合が目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。明かり取りのガラス屋根部分からの雨漏りが課題となっている。

##### ○村民グラウンド施設

竣工から29年が経過し、コンクリートのひび割れ等、劣化・損傷が見られるが、その都度補修を行ってきている。目詰まりにより、グラウンドの排水能力が低下してきている。

##### ○社会体育館

竣工から30年が経過し、平成27年度には天井耐震化工事、令和元年度にはトイレの改修工事を実施している。

##### ○弓道場及び武道館

弓道場及び武道館は竣工からそれぞれ39年、42年が経過し、劣化・損傷等が随所に見られる。

イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

サンアリーナ、村民グラウンド及び社会体育館は、新耐震基準は適用されている。

弓道場及び武道館は新耐震基準以前の建物であるが、法令による耐震診断の対象施設でないため、耐震診断は実施していない。

② 維持管理の方針及び計画

ア 施設の必要性、配置の考え方

健康増進や体力づくりに対する意識の高まりが進む中、村民のスポーツ活動の活発化・多様化に対応できる施設整備が求められている。特に、サンアリーナ、村民グラウンド及び社会体育館は、健康体力づくりや競技力向上、交流促進など、スポーツ活動の拠点施設となっており、安心・安全な施設環境を整備するとともに、利便性の向上を図る。

弓道場及び武道館については、老朽化した周辺の文化施設を含めた一体的なあり方の検討が必要であり、現在、管理担当課において検討委員会を立ち上げ検討を進めている。

イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

サンアリーナ及び村民グラウンドは、照明に使用している水銀灯が製造中止となることから、代替照明への更新が必要であり、令和2年度及び3年度に改修工事を行う。

弓道場及び武道館については、あり方の検討結果を踏まえ一体的な整備を行う。

(2) レクリエーション施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
四徳森林体験館	1993(H5)	27	249.34	W	産業振興課
四徳キャンプ場	1996(H8)	24	142.67	W	産業振興課
桑原キャンプ場	1995(H7)	25	294.40	W	産業振興課
山村広場「かつらの丘」	1993(H5)	27	132.50	W	保健福祉課
小渋保養センター 「よってこしぶ」	1972(S47)	48	187.98	W	産業振興課
陣馬形山荘	1971(S46)	49	150.00	W	産業振興課
望岳荘(宿泊棟)	1976(S51)	44	1,562.26	RS	産業振興課
望岳荘(新館棟)	1992(H4)	28			
転作促進研修センター (望岳荘大広間)	1984(S59)	36	498.24	S	産業振興課
ふれあい体験館	1994(H7)	25	384.04	RS	産業振興課
やすらぎ館(ハチ博物館等)	1995(H7)	25	997.65	SRC	産業振興課

① 現状と課題

ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

(単位:人)

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
四徳森林体験館及び四徳キャンプ場	-	4,220	7,404	9,737	9,479
桑原キャンプ場	3,065	2,739	2,265	2,910	3,008
かつらの丘	1,867	1,437	1,454	1,215	1,042
望岳荘(宿泊、宴会、入浴等)	68,465	67,008	67,300	69,133	51,193

※望岳荘については、各期(7月～翌年6月)の数値

○四徳森林体験館及び四徳キャンプ場

平成28年度まで上伊那森林組合、平成29年度から「わくわくしとく」(現「Wa q u a (合)」)が指定管理者として管理運営を担っている。竣工から27年が経過しており、施設の老朽化が激しいが、指定管理者自ら修繕及び施設改修等を行い、創意工夫をする中で、来場者数も大きく伸びており、全国的にも有名なキャンプ場として運営されている。

#### ○桑原キャンプ場

令和2年度まで桑原キャンプ場管理組合が指定管理者として管理運営を担っている。竣工から25年が経過し、場内各施設の老朽化が進んでおり、特にバンガローの老朽化が目立ってきている。利用者数は、釣堀場も合わせ3,000人前後で推移している。

#### ○山村広場「かつらの丘」

マレットゴルフ場をメインとした山村広場で、竣工から27年が経過し、管理棟を始め施設の老朽化が目立ってきている。また、平成17年度に4,776人あった利用者数は、令和元年度には1,000人余りにまで減少している。

#### ○小渋保養センター「よってこしぶ」

昭和47年に中川観光開発株式会社により、食堂や土産売り場等の観光施設として建設され、その後、平成2年に村が買い取り、貸倉庫等として活用してきた。建設から48年、村が所有してから30年が経過し、施設の老朽化が目立ってきている。現在は中川村や大鹿村に関する写真等を展示している程度となっている。

#### ○陣馬形山荘

昭和46年に陣馬形山山頂の避難小屋として建設され、平成29年度に耐震化工事を実施し「陣馬形山荘」としてリニューアルオープンした。かつての避難小屋から情報発信の場としても活用されている。

#### ○望岳荘及び転作促進研修センター（望岳荘大広間）、ふれあい体験館、やすらぎ館（ハチ博物館等）

現在、中川観光開発㈱が指定管理者として管理運営を担っている。平成4年に、本館及び転作促進研修センターを現在の位置に移動し、新宴会棟、新宿泊棟等を備えリニューアルオープンした望岳荘も、オープンから28年が経過し、館内各所の老朽化が目立ってきている。近年の利用者数は6万人後半で横ばいとなっているが、10万人を超えていたピーク時から4万人ほどの減少となっている。

平成7年度に増築されたふれあい体験館及びやすらぎ館のうち、やすらぎ館はハチ博物館や宿泊室等として宿泊施設と一体的に管理運営され、有効に活用されている。ふれあい体験館については、旧「いろり」が食事処「いろりなかがわ亭」として活用されているが、一方で、旧「とうげい」は陶芸ブームの終焉とともにその役割を終え、現在は未活用となっている。

#### イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

四徳森林体験館、四徳キャンプ場、桑原キャンプ場、かつらの丘及び転作促進研修センターは、新耐震基準は適用されている。

よってこしぶは、新耐震基準以前の建物であるが、法令による耐震診断の対象施設でないため、耐震診断は実施していない。

望岳荘は、一部新耐震基準が適用されていない棟があり、耐震化工事が必要である。

陣馬形山荘は新耐震基準以前の建物であるが、平成29年度に耐震化工事を実施済みである。

#### ② 維持管理の方針及び計画

##### ア 施設の必要性、配置の考え方

四徳森林体験館及び四徳キャンプ場は、全国的にも有名なキャンプ場として運営され、村のレクリエーション施設の重要な拠点である。今後の施設の運営や更新等を考えると、より自由な発想での施設整備や運営により、これまで以上に有効活用されるよう、民間への有償譲渡も選択肢の一つとして考えられる。

桑原キャンプ場は、昨今のキャンプブームもあり、山間の静かなキャンプ場として、今後多くの方の利用、来場が期待できる施設である。より有効に活用するため、四徳キャンプ場や陣馬形山キャンプ場等との連携や一体的な管理運営も考えていく必要がある。

かつらの丘は、施設自体の活用方法も模索する中で、管理棟については、令和2年度に改修工事を行い、障がい者地域活動支援センターとして活用する。マレットゴルフ場について

は、利用者は減少しているが、村民の健康増進の場として無料開放し利用促進を図る。

陣馬形山荘は、天空のキャンプ場や山頂からの眺望で全国的にも有名な陣馬形山の情報発信基地及び雷雨時等の避難小屋として重要な施設である。キャンプ場の有料化や増加する観光客への対応、また、周辺キャンプ場や観光施設等との一体的な管理運営や連携による有効的な活用のため、令和3年度から指定管理へ移行する。

よってこしぶは、ダム湖観光の観光施設としての役割を終えており、今後の有効活用も見いだせない状況であるため、除却も選択肢の一つとして考えられる。

望岳荘は、村の観光の拠点施設であり、地域間交流や都市と農村の交流の場として活用されている。村の観光の拠点施設として、宿泊・宴会等の事業のみにとらわれず、陣馬形山等の観光資源と組み合わせた総合的な事業展開のための施設整備も検討していく必要がある。

#### イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

四徳森林体験館は、民間への有償譲渡も選択肢の一つとしながら、あり方の検討を行う。

よってこしぶは、除却も選択肢の一つとしながら、あり方の検討を行う。

望岳荘は、宿泊棟の耐震化工事に合わせ、現在のニーズに合った改修工事を行い、村の観光の拠点施設としてより一層の活用を図る。

## 2 集会施設

施設名	建築年	経過年	延床面積 (㎡)	構造	管理担当課
南陽地区 高齢者等支え合い拠点施設	2010 (H22)	10	158.99	W	総務課
小平地区 高齢者等支え合い拠点施設	2010 (H22)	10	141.20	W	総務課
針ヶ平地区 高齢者等支え合い拠点施設	2010 (H22)	10	161.48	W	総務課
桑原地区 高齢者等支え合い拠点施設	2010 (H22)	10	119.04	W	総務課
飯沼地区 高齢者等支え合い拠点施設	2009 (H21)	11	158.67	W	総務課
中川村地域交流センター (葛北集会所)	2001 (H13)	19	231.86	W	総務課
八幡平会館	2000 (H12)	20	134.15	W	総務課
柏原地区集会施設	1996 (H8)	24	180.50	W	総務課
南原会館	1992 (H4)	28	271.61	W	総務課
葛島多目的集会施設	1990 (H2)	30	484.56	W	総務課
横前集落センター	1990 (H2)	30	252.57	W	総務課
北組会館	1988 (S63)	32	198.17	W	総務課
美里多目的集会施設	1987 (S62)	33	249.88	W	総務課
中田島地区 高齢者等支え合い拠点施設	1985 (S60)	35	151.33	W	総務課
中央会館	1985 (S60)	35	558.57	W	総務課
田島会館	1984 (S59)	36	250.08	W	総務課
柳沢会館	1982 (S57)	38	182.80	W	総務課
中組会館	1981 (S56)	39	327.89	W	総務課
渡場会館	1981 (S56)	39	273.01	W	総務課
竹ノ上集落センター	1980 (S55)	40	106.57	W	総務課
上前沢集会所	1979 (S54)	41	115.85	W	総務課

三共会館	1979(S54)	41	174.73	W	総務課
小和田集会所	1978(S53)	42	175.56	W	総務課
牧ヶ原コミュニティセンター	2018(H30)	2	199.58	W	総務課
下平集会所	1978(S53)	42	154.03	W	総務課
南田島会館	1978(S53)	42	236.83	W	総務課
沖町会館	1977(S52)	43	196.26	W	総務課
中通集会所	1977(S52)	43	150.69	W	総務課

① 現状と課題

ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

平成18年度から各地区運営母体を指定管理者とし、施設の維持管理をはじめ、それぞれに地域の特性や課題に応じた地区計画に基づいて地区行事や地区作業、地域の伝統文化の継承など、地域主体のむらづくりの拠点として活発に利用が図られている。

施設は、昭和50年代に建築されたものが多く、それらは築36年から43年が経過しているが、これまで計画的に修繕・改修を行ってきており、各施設とも概ね良好な状態である。

イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

施設の約1/3が新耐震基準以前の建物であるが、法令による耐震診断の対象施設でないため、耐震診断は実施していない。

② 維持管理の方針及び計画

ア 施設の必要性、配置の考え方

地区の統廃合等がない限り配置は現状のままとし、地域主体のむらづくりの拠点として引き続き維持管理を行う。

イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

3 産業系施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
農産物加工施設 「つくっちゃオ」	2009(H21)	11	669.92	S	産業振興課
地場センター	2006(H18)	14	268.98	S	産業振興課
西ヶ原農村交流施設	2001(H13)	19	132.50	W	産業振興課
獣肉加工施設	1992(H4)	28	75.30	W	産業振興課
針ヶ平倉庫	1982(S57)	38	356.00	W	産業振興課
お試しシェアオフィス	1997(H9)	23	195.69	W	産業振興課
お試しシェアオフィス (附属屋・倉庫)	1980(S55)	40	102.67	W	産業振興課

① 現状と課題

ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
農産物加工施設 「つくっちゃオ」	-	290回	548回	571回	507回
お試しシェアオフィス	-	-	-	390人	498人

○農産物加工施設「つくっちゃオ」

現在、NPO法人ふるさとづくり・やらまいかが指定管理者として管理運営を担っている。近年の利用回数は500回余で推移している。過去に当施設においても加工品の販売を行っていたが、現在は施設の貸付のみとなっている。



○地場センター

現在は、情報発信コーナーとして展示やイベントの開催等に貸付を行っている。また、令和2年度には、旧たじまファーム事務室を「シェアキッチン」に改装し、新たな活用を始めている。

○西ヶ原農村交流施設

施設は西ヶ原ぶどう園の中央に位置し、現在、西ヶ原ぶどう生産組合が指定管理者として管理運営を担っている。組合の事務所、直売場、ぶどう祭りの会場等で活用されている。

○獣肉加工施設

当初、林業振興のため炭焼き施設として建設されたが、しばらくの間未活用となっていた。平成25年に有害鳥獣駆除等により捕獲された野生獣の有効活用のため、獣肉加工施設として改修され、村内で駆除された鹿や猪の解体・加工等に活用されている。

○針ヶ平倉庫

昭和57年に、西小学校の建て替えに伴い木造校舎の一部を倉庫として移築し、現在は、民間の事業者に貸し付けている。建物は建築年不詳であるが、相当年数を経過しているため、老朽化により全体的に劣化・損傷が進んでいる。

○お試しシェアオフィス

寄附により取得し、地域おこし協力隊に貸し付けていた農家住宅を、平成29年度にシェアオフィスに改修し活用している。隣接する附属屋・倉庫は、昭和55年建築のため各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきている。また、今後の活用方法が課題となっている。

イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

針ヶ平倉庫及びお試しシェアオフィスの附属屋・倉庫は新耐震基準以前の建物であるが、法令による耐震診断の対象施設でないため、耐震診断は実施していない。

上記以外の施設については、新耐震基準は適用されている。

② 維持管理の方針及び計画

ア 施設の必要性、配置の考え方

針ヶ平倉庫は、敷地が借地であることを考えると、老朽化が著しい現有施設を更新し、保有し続けることは考えにくい。

針ヶ平倉庫以外の施設については、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

農産物加工施設「つくっちゃオ」及び地場センターは、より有効に活用するため、チャオ周辺の施設等と一体的な利活用を考えていく必要がある。

針ヶ平倉庫は、除却、又は貸付者への有償譲渡を検討する。

お試しシェアオフィスの附属屋・倉庫は、今後の活用方法が決定し次第改修工事を行う。

#### 4 文化施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
中川文化センター	1997(H9)	23	2,994.07	SRC	教育委員会
天体観測施設付学習交流施設「銀河ドーム」	2002(H14)	18	102.76	S	教育委員会
NVサウンドホール	1993(H5)	27	287.80	W	教育委員会
アンフォルメル中川村美術館	1993(H5)	27	296.59	RC	教育委員会
青年婦人会館	1978(S53)	42	126.36	RC	教育委員会
歴史民俗資料館	1981(S56)	39	499.46	RC	教育委員会
高齢者創作館	1978(S53)	42	238.49	W	教育委員会
茶室	1981(S56)	39	13.53	W	教育委員会
古代住居	1982(S57)	38	6.83	W	教育委員会

① 現状と課題

ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

(単位：人)

施設名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
中川文化センター	22,512	22,531	23,474	23,440	21,304
天体観測施設付学習交流施設「銀河ドーム」	464	433	301	671	512
NVサウンドホール	3,946	3,493	3,792	3,780	3,385
アンフォルメル中川村美術館	1,320	1,945	1,666	1,440	2,073
歴史民俗資料館	414	511	473	402	486
高齢者創作館	2,034	1,845	1,608	1,746	1,789
茶室	40	57	63	49	42

○中川文化センター

文化会館、公民館、図書館の複合施設で、催事や公民館講座等で幅広く活用されている。竣工から23年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。大ホールの音響・照明及び舞台設備が更新時期を迎えており、計画的な更新が求められている。

○天体観測施設付学習交流施設「銀河ドーム」

現在、有志の団体「ポラリスの会」が運営を担っている。定期開館のみならず、星空観測会の開催等、精力的に活動しており、施設は有効に活用されている。竣工から18年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。開館当時設置の天体望遠鏡は、経年による不具合が発生してきており、部分修繕により継続使用している。

○NVサウンドホール

コーラス、太鼓等の定期練習やミニコンサート等に幅広く活用されている。竣工から27年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○アンフォルメル中川村美術館

故鈴木崧画伯から、施設及び作品を村が譲り受け開館し、現在、アンフォルメル中川村美術館管理組合が指定管理者として管理運営を担っている。工夫を凝らした企画展等の開催により、来館者は増加している。竣工から27年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○青年婦人会館

現在、中間教室として活用されている。竣工から42年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○歴史民俗資料館

村の民俗、古文書、考古資料が保管、展示されており、毎週火・木曜日の定期開館に加え、秋に特別展を開催している。竣工から42年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○高齢者創作館

機織り、人形浄瑠璃の練習等に定期的に活用されている。また、歴史民俗資料館の補完施設として特別展等にも活用されている。竣工から42年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○茶室

クラブの練習で定期的に活用されている。竣工から39年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○古代住居

竪穴式住居を復元したもので、歴史民俗資料館の開館に伴い建設された。公民館の講座、

小学生の歴史の勉強等で活用されるが、頻度は少ない。竣工から38年が経過し、茅葺の劣化が著しい。

イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

青年婦人会館及び高齢者創作館は新耐震基準以前の建物であるが、法令による耐震診断の対象施設でないため、耐震診断は実施していない。

青年婦人会館及び高齢者創作館以外の施設については、新耐震基準は適用されている。

② 維持管理の方針及び計画

ア 施設の必要性、配置の考え方

中川文化センター及びNVサウンドホールについては、村民の生涯学習や文化交流活動の場として配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

天体観測施設付学習交流施設「銀河ドーム」は、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行うが、天体望遠鏡の更新が必要となった時点で、今後の施設のあり方を含めた検討が必要である。

アンフォルメル中川村美術館については、日本で唯一のアンフォルメル美術館として配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行うが、令和2年度に改修を行うアトリエ棟のより有効な活用が求められる。

歴史民俗資料館は、村の歴史資料等の保存・管理のため重要な施設であり配置は現状のままとする。しかしながら、収蔵スペースが限界にきており、再整備を行うにあたっては、老朽化している周辺一帯の施設を含め、その必要性、配置、整備計画を検討する必要がある。現在、管理担当課において検討委員会を立ち上げ検討を進めている。

イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

歴史民俗資料館一帯の施設については、あり方の検討結果を踏まえ一体的な整備を行う。

## 5 庁舎等

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
中川村役場	1979(S54)	41	2,768.19	SRC	総務課
基幹集落センター	1979(S54)	41	432.00	SRC	総務課
保健センター	1981(S56)	39	417.50	RC	保健福祉課

① 現状と課題

ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

○中川村役場

竣工から41年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○基幹集落センター

集会室、会議室、文書保管庫として活用されている。令和元年度にトイレの全面改修工事を行っている。竣工から41年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

○保健センター

健康診断や乳幼児健診等の各種健診の実施や保健福祉課保健医療係、地域包括支援センターの事務室として活用されている。竣工から39年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

役場庁舎及び基幹集落センターは新耐震基準以前の建物であるため、平成18年度に耐震診断を実施したところ一部で基準値を下回った。平成18年度及び19年度に耐震補強工事を実施済みである。

保健センターは、新耐震基準は適用されている。

## ② 維持管理の方針及び計画

### ア 施設の必要性、配置の考え方

役場庁舎及び基幹集落センターについては、自治体運営及びまちづくりの主要施設であり、災害時の対策本部・避難所として重要な施設であり、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

保健センターについては、村民の健康増進事業の推進や高齢者を支える総合相談窓口として重要な施設であり、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

### イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

## 6 高齢者福祉施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
介護予防センター東館	2003(H15)	17	235.63	S	保健福祉課
介護予防センター西館	2001(H13)	19	340.65	W	保健福祉課
在宅支援センター	1999(H11)	21	355.32	S	保健福祉課
デイサービスセンター「いわゆり荘」	1992(H4)	28	531.25	RC	保健福祉課
高齢者憩いの家	1989(H1)	31	646.80	SRC	保健福祉課
旧かつら保育園	1976(S51)	44	390.78	W	保健福祉課

### ① 現状と課題

#### ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

##### ○介護予防センター東館、在宅支援センター、デイサービスセンター「いわゆり荘」

現在、中川村社会福祉協議会が指定管理者として管理運営を担っている。3施設とも、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。在宅支援センター及びデイサービスセンター各設備の不具合等が出てきており、計画的な修繕が必要となっている。

##### ○介護予防センター西館

現在、週一回程度の介護予防教室や児童クラブの開設場所、会議等への貸し館として活用されている。竣工から19年が経過し、所々に経年的な劣化や損傷はあるものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

##### ○高齢者憩いの家

現在、中川観光開発(株)が指定管理者として管理運営を担っており、望岳荘宿泊客及び一般入浴にも活用されている。竣工から31年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。平成27・28年度に浴室及び配管等の大規模改修、令和元・2年度にはバイオマスボイラー設置工事を実施している。

##### ○旧かつら保育所

大草保育所(現みなかた保育所)との統合に伴い、平成17年4月から遊休施設となった当該施設を、NPO法人に同年6月から貸付を行い、現在は宅幼老所として活用されている。竣工から44年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。施設の維持補修、改良等は借主の負担で行うこととなっており、村の費用負担はないものの、今後も当該施設を保有し続けるかは検討が必要である。

#### イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

旧かつら保育園は新耐震基準以前の建物であるが、法令による耐震診断の対象施設でないため、耐震診断は実施していない。

旧かつら保育園以外の施設については、新耐震基準は適用されている。

## ② 維持管理の方針及び計画

### ア 施設の必要性、配置の考え方

介護予防センター東館及び西館、在宅支援センター、デイサービスセンター「いわゆり荘」については、村民の介護予防やデイサービスの拠点として配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

高齢者憩いの家は、村の観光の拠点施設である望岳荘と一体的な施設であり、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

旧かつら保育園は、現在の活用が見込めなくなった時点、又は施設の老朽化により大規模な改修が必要となった時点において、除却、又は貸付者への土地を含めた有償譲渡を検討する必要がある。

### イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

## 7 子育て支援施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
みなかた保育所	1986(S61)	34	733.41	S	保健福祉課
片桐保育所	1978(S53)	42	1,202.96	S	保健福祉課
つどいの広場「バンビーニ」	2006(H18)	14	171.00	S	保健福祉課

### ① 現状と課題

#### ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

(単位:人)

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
みなかた保育所	71	63	63	54	59
片桐保育所	99	108	105	103	99
つどいの広場「バンビーニ」	279 (165世帯)	272 (165世帯)	257 (160世帯)	270 (165世帯)	315 (204世帯)

※バンビーニは令和元年度から登録料無料

#### ○みなかた保育所

旧大草保育所と旧かつら保育所の統合により、平成17年度から「みなかた保育所」として運営され、令和2年10月末現在の園児数は未満児も含め50人となっている。竣工から34年が経過し、所々に経年的な劣化や損傷はあるものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

#### ○片桐保育所

昭和53年度から現在の場所に開所され、幾度かの増築後、平成25年度に未満児室の大規模な増築が行われ現在に至っている。令和2年10月末現在の園児数は未満児も含め84人となっている。当初の施設は竣工から42年が経過し、所々に経年的な劣化や損傷はあるものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

#### ○つどいの広場「バンビーニ」

子育て家庭の親と子どもが気軽に集い、相互の支援と交流をはかる場を提供することを目的に、チャオの2階に開設され、令和元年度からは年間登録料が無料となり現在に至っている。開設から14年が経過しているが、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

#### イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

片桐保育所は、新耐震基準以前の建物であるが、耐震診断を実施したところ基準値を上回っている。みなかた保育所及びつどいの広場「バンビーニ」は、新耐震基準は適用されている。

## ② 維持管理の方針及び計画

### ア 施設の必要性、配置の考え方

子育て支援施設は、子どもたちが未来への夢と郷土への愛着を育てていく環境整備とし

て、人口減少対策に必要な施設となっている。一方で、将来の出生者数や保護者の保育ニーズを見据え、施設形態の見直しを含めて検討していく必要がある。

保育所については、当面配置は現状のままとし、引き続き維持管理に努めていくこととするが、今後の出生数の動向及び多様化する保育ニーズを見据えながら、整備も含めて今後のあり方を総合的に検討していく必要がある。

つどいの広場「バンビーニ」については、子育て家庭相互の支援と交流をはかる場として、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

#### イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

## 8 消防施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
第1分団詰所兼車庫	2019(R1)	1	107.59	W	総務課
第2分団詰所兼車庫	1977(S52)	43	63.70	S	総務課
第1部詰所兼車庫	1986(S61)	34	59.66	S	総務課
第2部詰所兼車庫	1988(S63)	32	59.66	S	総務課
第3部渡場詰所兼車庫	2000(H12)	20	81.24	S	総務課
第3部南陽詰所兼車庫	1987(S62)	33	59.66	S	総務課
第4部詰所兼車庫	1986(S61)	34	59.66	S	総務課
第5部詰所兼車庫	1988(S63)	32	59.66	S	総務課
第6部詰所兼車庫	1987(S62)	33	59.66	S	総務課
第7部詰所兼車庫	1998(H10)	21	88.34	S	総務課
第8部詰所兼車庫	1988(S63)	32	59.66	S	地域政策課
中川村防災倉庫	2009(H21)	11	84.59	S	総務課
牧ヶ原防災倉庫	2019(R1)	1	67.04	S	総務課
大草水防倉庫	2008(H20)	12	32.25	S	総務課
葛島水防倉庫	2015(H27)	5	15.50	S	総務課

### ① 現状と課題

#### ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

##### ○第2分団詰所兼車庫

竣工から43年が経過し、老朽化により全体的に劣化・損傷が進んでいる。現在、2階は分団幹部会等の会議で利用されているが、1階車庫部分は、片桐水防倉庫として利用されている。

##### ○第8部詰所兼車庫

部の統合等に伴い、詰所としての役目を終えており、現在は、一般村民に貸し付けている。

##### ○その他詰所兼車庫

大半の建物が昭和60年代の建築であり、竣工から30年以上が経過しているが、計画的な整備により全ての建物において屋根や外壁等の改修工事が終わっている。また、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

##### ○防災倉庫及び水防倉庫

比較的新しい建物であり、劣化や損傷は見られない。

#### イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

第2分団詰所兼車庫は、新耐震基準以前の建物である。耐震診断は実施していないが、耐震不足と推定される。第2分団詰所兼車庫以外の施設は、新耐震基準は適用されている。

### ② 維持管理の方針及び計画

#### ア 施設の必要性、配置の考え方

第2分団詰所兼車庫については、分団ポンプ車の配置がないことから、必要となるのは分

団詰所機能のみであり、現有施設の規模で更新し、保有し続けることは考えにくい。

第8部詰所兼車庫については、詰所としての役目を終えていることから、現有施設を更新し、保有し続けることは考えにくい。

その他の消防団詰所については、地域防災の要であり、必要不可欠な施設であるため、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

防災倉庫及び水防倉庫については、災害時の住民生活を支える物品を保管する重要な施設であり、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

#### イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

第2分団詰所兼車庫については、令和4年度を目標に、片桐水防倉庫への建て替え及び、既存他部詰所での分団詰所機能兼用などを検討する。

第8部詰所兼車庫は、除却、又は貸付者への有償譲渡を検討する。

## 9 医療施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
片桐診療所	2009(H21)	11	208.44	W	保健福祉課
片桐診療所医師住宅	2009(H21)	11	109.52	W	保健福祉課

### ① 現状と課題

#### ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

片桐診療所については、現在、施設の権限や責任を村が持ち、診療所の運営のみ民間に委託する公設民営という形で管理運営されている。施設は築11年と比較的新しく、概ね良好な状態である。

#### イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

新耐震基準は適用されている。

### ② 維持管理の方針及び計画

#### ア 施設の必要性、配置の考え方

当診療所は、片桐地区における地域医療の要であり、必要不可欠な施設であるため、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

#### イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

## 10 その他の施設

施設名	建築年	経過年	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	管理担当課
小渋湖温泉	1969(S44)	51	772.72	W	産業振興課
小平お試し住宅	2017(H29)	3	80.81	W	地域政策課
中組お試し住宅	1982(S57)	38	62.52	W	地域政策課

### ① 現状と課題

#### ア 施設の利用状況、劣化・損傷等の状態

(単位：世帯)

施設名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小平お試し住宅	-	-	-	2	2
中組お試し住宅	-	-	-	-	2

#### ○小渋湖温泉

小渋湖温泉については、昭和44年小渋ダム建設の監督宿舎を村が払下げを受け開業し、その後民間所有となった。平成29年度に再び村が取得し、現在は、一般村民に住宅として貸し付けている。建物は建築年不詳であるが、半世紀以上が経過しているため、老朽化により全体的に劣化・損傷が進んでいる。

○小平お試し住宅

平成29年度に新築整備し、平成30年度から活用している。施設は築3年と新しく、良好な状態である。

○中組お試し住宅

東小学校校長住宅を用途変更し、令和元年度からお試し住宅として活用している。竣工から38年が経過し、各所の経年的な劣化や損傷は目立ってきているものの、施設躯体に関わる劣化や損傷は見られない。

イ 点検・耐震診断の有無及び診断結果等

小渋湖温泉は、新耐震基準以前の建物である。耐震診断は実施していないが、耐震不足と推定される。

小平及び中組のお試し住宅は、新耐震基準は適用されている。

② 維持管理の方針及び計画

ア 施設の必要性、配置の考え方

小渋湖温泉については、老朽化した現有施設を改修し、宿泊施設として再開し、保有し続けることは考えにくい。当面現状の配置とするが、必要最小限の維持管理とし、現地の活用方法が定まった段階で取り壊し、跡地の有効活用を図る。

お試し住宅は、地方創生のための重要な拠点施設であるため、配置は現状のままとし、引き続き維持管理を行う。

イ 対策の方針

計画的な維持修繕、設備更新等により長寿命化を図り、施設を維持する。

小渋湖温泉については、当面、必要最小限の維持管理とする。

## VI 計画の進行管理

本計画は、中川村総合計画と整合性を図りながら、地域政策課財政係が中心となり施設管理担当課と庁内調整を行いながら、計画の進行管理を行う。

計画的な維持修繕、設備更新等による施設の長寿命化を優先しながら、社会動向等の変化や緊急性等を踏まえて公共施設のあり方や再配置等を検討する。また、毎年、実施事業ヒアリング、予算編成の段階で内容確認し、予算化の状況等により計画の推進及び見直しを行う。



## VII 施設管理計画一覧

施設名	建築年	経過年	延床面積 (㎡)	構造	管理担当課	耐震診断	耐震対策	今後の方針
屋根付き運動場 「サンアリーナ」	1998(H10)	22	2,508.00	S	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
村民グラウンド施設	1991(H3)	29	102.02	RC	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
社会体育館	1990(H2)	30	2,519.58	SRC	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
弓道場(射場)	1981(S56)	39	105.90	W	教育委員会	未実施 (対象外)		周辺施設一帯の あり方の検討
武道館	1978(S53)	42	327.97	W	教育委員会	未実施 (対象外)		周辺施設一帯の あり方の検討
四徳森林体験館	1993(H5)	27	249.34	W	産業振興課	未実施 (新基準)		維持修繕による長寿 命化(譲渡も検討)
四徳キャンプ場	1996(H8)	24	142.67	W	産業振興課	未実施 (新基準)		維持修繕による長寿 命化(譲渡も検討)
桑原キャンプ場	1995(H7)	25	294.40	W	産業振興課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
山村広場 「かつらの丘」	1993(H5)	27	132.50	W	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
小渋保養センター 「よってこしぶ」	1972(S47)	48	187.98	W	産業振興課	未実施 (対象外)		除却も含めあり 方の検討
陣馬形山荘	1971(S46)	49	150.00	W	産業振興課	実施済 (不足)	済	維持修繕による 長寿命化
望岳荘(宿泊棟)	1976(S51)	44	1,562.26	RS	産業振興課	実施済 (一部不足)	未	周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
望岳荘(新館棟)	1992(H4)	28				未実施 (新基準)		周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
転作促進研修センター (望岳荘大広間)	1984(S59)	36	498.24	S	産業振興課	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
ふれあい体験館	1994(H7)	25	384.04	RS	産業振興課	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
やすらぎ館 (ハチ博物館等)	1995(H7)	25	997.65	SRC	産業振興課	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
農産物加工施設 「つくっチャオ」	2009(H21)	11	669.92	S	産業振興課	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
地場センター	2006(H18)	14	268.98	S	産業振興課	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の活 用・あり方の検討
西ヶ原農村交流施設	2001(H13)	19	132.50	W	産業振興課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
獣肉加工施設	1992(H4)	28	75.30	W	産業振興課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
針ヶ平倉庫	1982(S57)	38	356.00	W	産業振興課	未実施 (対象外)		譲渡・除却も含め あり方の検討
お試しシェアオフィス	1997(H9)	23	195.69	W	産業振興課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
お試しシェアオフィス (附属屋・倉庫)	1980(S55)	40	102.67	W	産業振興課	未実施 (対象外)		維持修繕による長寿 命化(活用方法検討)
中川文化センター	1997(H9)	23	2,994.07	SRC	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化

天体観測施設付学習交流施設「銀河ドーム」	2002(H14)	18	102.76	S	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
NV サウンドホール	1993(H5)	27	287.80	W	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
アンフォルメル中川村 美術館	1993(H5)	27	296.59	RC	教育委員会	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
青年婦人会館	1978(S53)	42	126.36	RC	教育委員会	未実施 (対象外)		周辺施設一帯の あり方の検討
歴史民俗資料館	1981(S56)	39	499.46	RC	教育委員会	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の あり方の検討
高齢者創作館	1978(S53)	42	238.49	W	教育委員会	未実施 (対象外)		周辺施設一帯の あり方の検討
茶室	1981(S56)	39	13.53	W	教育委員会	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の あり方の検討
古代住居	1982(S57)	38	6.83	W	教育委員会	未実施 (新基準)		周辺施設一帯の あり方の検討
中川村役場	1979(S54)	41	2,768.19	SRC	総務課	実施済 (一部不足)	済	維持修繕による 長寿命化
基幹集落センター	1979(S54)	41	432.00	SRC	総務課	実施済 (一部不足)	済	維持修繕による 長寿命化
保健センター	1981(S56)	39	417.50	RC	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
介護予防センター東館	2003(H15)	17	235.63	S	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
介護予防センター西館	2001(H13)	19	340.65	W	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
在宅支援センター	1999(H11)	21	355.32	S	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
デイサービスセンター 「いわゆり荘」	1992(H4)	28	531.25	RC	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
高齢者憩いの家	1989(H1)	31	646.80	SRC	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
旧かつら保育園	1976(S51)	44	390.78	W	保健福祉課	未実施 (対象外)		維持修繕による長寿 命化(あり方検討)
みなかた保育所	1986(S61)	34	733.41	S	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
片桐保育所	1978(S53)	42	1,202.96	S	保健福祉課	実施済 (基準値)		維持修繕による 長寿命化
つどいの広場 「バンビーニ」	2006(H18)	14	171.00	S	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第1分団詰所兼車庫	2019(R1)	1	107.59	W	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第2分団詰所兼車庫	1977(S52)	43	63.70	S	総務課	未実施 (-)	未	R4 をめどに水防 倉庫へ建替
第1部詰所兼車庫	1986(S61)	34	59.66	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第2部詰所兼車庫	1988(S63)	32	59.66	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第3部渡場詰所兼車庫	2000(H12)	20	81.24	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第3部南陽詰所兼車庫	1987(S62)	33	59.66	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第4部詰所兼車庫	1986(S61)	34	59.66	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化

第5部 詰所兼車庫	1988 (S63)	32	59.66	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第6部 詰所兼車庫	1987 (S62)	33	59.66	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第7部 詰所兼車庫	1998 (H10)	21	88.34	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
第8部 詰所兼車庫	1988 (S63)	32	59.66	S	地域政策課	未実施 (新基準)		譲渡・除却も含め あり方の検討
中川村防災倉庫	2009 (H21)	11	84.59	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
牧ヶ原防災倉庫	2019 (R1)	1	67.04	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
大草水防倉庫	2008 (H20)	12	32.25	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
葛島水防倉庫	2015 (H27)	5	15.50	S	総務課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
片桐診療所	2009 (H21)	11	208.44	W	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
片桐診療所医師住宅	2009 (H21)	11	109.52	W	保健福祉課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
小渋湖温泉	1969 (S44)	51	772.72	W	産業振興課	未実施 (-)	未	当面必要最小限 の維持管理
小平お試し住宅	2017 (H29)	3	80.81	W	地域政策課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化
中組お試し住宅	1982 (S57)	38	62.52	W	地域政策課	未実施 (新基準)		維持修繕による 長寿命化

※地区集会施設は、地区の統廃合等がない限り配置は現状のままとし、維持修繕による長寿命化を図る。